

Library Mate

特命任務：オススメ本を選書せよ！

学生のみなさん、図書館には難しそうな本ばかりで、もう少し読みやすい本があったらなあ。。と思ったことはありませんか？この本は高いから買えないけど図書館にあったら利用したいなあ。。と思ったことはありませんか？そんなみなさんのモヤモヤをスッキリ！と解決するイベント、「学生選書ツアー」が9月15日に行われました。

選書ツアーとは、「学生の、学生による、学生のための資料選び」ができる企画で、図書館で備えて欲しい資料を書店で直接学生さんに選んでもらうイベントです。「友人や他の学生にオススメしたい本を探せ！」という特命を受けた6名の学生選書スタッフが、三省堂書店（神保町本店）を舞台に、「選書」という重大任務を遂行してきました。その模様をご報告。

* * *

9月15日水曜日、天気は晴れ。任務遂行場所となる三省堂書店は売り場面積約1,000坪、店頭書籍点数約100万点という広大かつ品揃えも豊富。相手にとって不足はない。

午後2時、6名のスタッフは一様に緊張した面持ちで任務に取りかかる。1階から7階までのフロアをくまなく歩き回り、限られた予算、限られた2時間30分という時間と戦いながら、「みんなにオススメしたい！」という資料を探しまわった。それぞれ真剣な表情で目を惹く本を手にとってい

たのが印象的である。

制限時間の中盤にさしかかる頃には、スタッフ同士で店内の情報や自分が選んだ資料の情報を交換し合うなどの連携も見られ、終わってみれば図書館の分類で言う全10部門から80点以上の資料を選び抜いた。スタッフからはやり遂げた満足感が溢れていた。しかし時間が経つにつれ「自分が選んだ本が借りられるか」という期待と不安の入り混じった表情も見取れ、任務の重大さを再認識することとなる。

選ばれた資料は、スタッフのオススメコメントを付して図書館に展示される。この資料が展示書架から消え、OPACの検索結果に「貸出中」と表示された時、スタッフは喜びに満たされ、本当の満足感を味わうこととなるであろう。

* * *

参加スタッフの声を次頁に掲載しました。ぜひ中を開き、ご覧ください！次回の特命スタッフはあなたかもしれません！



選書ツアーのメンバー 三省堂書店にて

第1回選書ツアー 座談会

10月21日(木) 図書館館長室にて
一座談会に参加してくれた皆さん—

国文学科3年生 加藤沙和さん
国文学科3年生 橋本由佳さん
美学美術史学科4年生 浅水梨菜さん

— 改めまして、選書ツアーにご参加いただきましてありがとうございます。今日はざつぱらんに気兼ねなく色々お話を聞かせていただきたいなと思います。

では、まず選書ツアーに参加したきっかけなどを教えてください。

橋本さん：授業で言われた？その前に私が（加藤さんに）言ったよね。

—（アンケートを見ながら）加藤さんと橋本さんは「教員からの案内」と書いてありましたが。

加藤さん：授業中に図書館のホームページを見て、そこに書いてあった。

橋本さん：あっ、そっかそうだった。「選書ツアーあります」っていうのが書いてあって。

— じゃあ、先生より先にHPを見て？

橋本さん：私が沙和（加藤さん）に選書ツアーあるらしいよ、やりたくない？って言ったら、その時間に木曜5限の竹内先生*が図書館でこういうのやるらしいよ、みたいな紙をくれて。じゃあ、やっぱやるしかないって。

*図書館から、図書館学の竹内先生へ授業での宣伝をお願いしていました。

— 浅水さんもHPを？

浅水さん：そうですね、HPを見て、ちょっと気になって、オープンキャンパスのスタッフとして参加した時にチラシを（もらって）…。普段選書ってなかなかできないものだと思ったので経験してみたいなと思って。今年、4年で最後なので。

*

— では、実際に参加してみていかがだったでしょう？特に事前に準備などは？

橋本さん：一回神保町に行ったぐらいで、あれも準備ってほどの…

—（アンケートを見て）加藤さんは「過去の演習と

か授業のレポート作成のことを振り返って準備した」と書いてありました。

橋本さん：すご〜い。

加藤さん：いや、頭で振り返ったくらい…。

— 浅水さんは「HPで検索して、大学の所蔵を調べた」って。みなさん、こんな本があったらいい的なことはなんとなく考えていました？

橋本さん：ああ、それはざっくり。

— 国文の分野で？

加藤さん：そうですね、やっぱ演習とかで、もうちょっとこの資料欲しいかもって思ったやつとか…。

— 浅水さんは美美的本ですか？

浅水さん：そうですね。

— 普段、図書館の蔵書ってどうですか？

浅水さん：蔵書…そうですね。なんか私が日本近代美術を勉強しているからだと思うんですけど、あんまり日本近代美術の本って少ないのかなって。地下にあるのが多いような…。

— 大型本ですか？絵とかですか？それともその人について書かれたものとかですか？

浅水さん：両方です。

— 今回、選書ツアーで選ぶときにそういうのを見たりしました？

浅水さん：そうですね、なるべく図版がいっぱい載っているものを選びました。

— 加藤さんは、選んだ分野で「日本語学とジェンダー」と（アンケートに）書いてありましたが。

加藤さん：あっ、はい。なんかジェンダー論を1年の時に取っていて、授業で。その当時は、卒論でもやるのかなって思って書いたんですけど、今は別に…。

— でも、とりあえず選んでみた？

加藤さん：授業でもあるし、そういう私の他にもジェンダーで卒論とかを書こうとしている人がいるのかもしれないって思ったから書いてみたんですけど。

— 選ぶときに、どのような基準で、これだったら他の人が読むだろう、というのを考えて選びましたか？

加藤さん：ばらって開いて、目次とか見て、「あっ、これわかりやすい」とか、興味がない人でも興味を持てるかなって本は、買っておこう、みたいな。

橋本さん：確かにそうだよな。私も分かりやすさとか。

—— 浅水さんはどうですか？

浅水さん：そうですね、手に取りやすい、読みたくなるような感じの本を選びました。

—— 見た目は気にしました？

橋本さん：私、ほぼ見た目とタイトルで入る人なので。自分が読む本も。だいたい表紙とかで、ほんとに好きな作家以外はばあーと見て、なんかいいなって思って、で、内容見る、みたいな感じで。割とタイトルとかでけっこう最初は入る人。結構それで決める時もある。

—— 確かに、タイトルとか、目をひくものとか手に取りますよね。

橋本さん：はい、取りあえず手に取ってもらえたらと思って。

*

—— それで、(アンケートに) 選書に使える金額の上限は3万円程度でちょうど良くて、みなさんは書いてたんですが、橋本さんだけ5万円欲しいなあって書いてましたね(笑)。

橋本さん：もっとあったらいいなあって思って。全然あれでも良かったんですけど、もっとあったらなあ、って。

—— もっともっと選びたかったという感じですか？

橋本さん：全然、選びたかった！

—— でも、結局、みんな達してないんですよ。3万に。なので、みんな(上限を)気にしすぎたのかなど。

橋本さん：大丈夫かな？って思いつつ…。

加藤さん：結構予想以上に重複*したなって。

※重複…学生選書をして、図書館に所蔵がある場合のこと。

橋本さん：そうだね、重複分があるからねえ。

—— それで(重複を考慮して) やめちゃった本ってありました？

橋本さん：なんか見たことあるかもみたいな。これ見た気がする、あったような気がする、みたいな。

加藤さん：選書した後に図書館に行って、あっ、これ私が選んだ本だ、って思って。

—— 残念、ある…みたいな(笑)。でも、逆に図書館にあるってことは、自分が選んだ本は間違っていない、みたいな、そういう…。

橋本さん：確かに！

—— 目がすごい肥えてる！ってことですよ。

橋本さん：それはそれですごい！

—— 重複が多いってことは、みんなが使いたって本が入ってあるってことで。あまりにもかぶって

ないと、(図書館の) 選書担当者は何やってるんだってことになりますから。

*

—— 最後に感想を言っていたいただけますか。

橋本さん：なんか他の書店でも(選書ツアーを) できたら、色々書店を見がてら、こう違う現場というか、新宿のとか、あと吉祥寺も…。神保町の古書店とかも、選書とは別にめぐってみたいので。まだ全然見されてなくて、って思うし、色々ちょっと見てみたいなどは思いましたね。でも、すごい楽しかったし、なかなか自分だけだとやらないことなので、企画していただいて参加してってというのはすごいありがたかったです。

浅水さん：私も選書ってというのは、なかなかできないことなので、経験できて良かったなあって。4年なので、ギリギリ経験できて良かったなって思います。

加藤さん：こういう機会じゃないと、普段本屋に行って、その自分の好きな本のコーナーだけ見て、これいいなって思うんじゃないかと、普段は行かないような勉強のとことかを本屋で行って、こういう本があるんだなって思って、そういう違った視点で本屋に行くのがなかなか(ないし)、今回がそういう時だったので、それが面白かったなって思いました。で、やっぱり想像して自分が選書した本が、貸出中とかになってたらうれしいかなって思って。だから、そう思ったら、いいイベントに参加できたなって思います。

—— これからも楽しみが続きますね。これから(選書した本を) 展示していくということと、それが使われていくということで、ひそかな楽しみになりますね。

橋本さん：みんなに言おう！置いてあるからって。

—— では、次はポップ作りですね。

橋本さん：そうですね、楽しみ！

—— 私も楽しみです！どんなのがでてくるか…。

橋本さん：頑張りよう！

—— では、これで座談会は終了させていただきます。

全員：ありがとうございます。

選書ツアーに参加されたみなさん、ありがとうございました。三省堂のスタッフのみなさん、ご協力ありがとうございました。

選書ツアーでメンバーが選んだ本は、POPをつけて書架に展示されます。また、OPACの検索結果にも紹介記事を付けますので、ぜひ読んでみてくださいね！

今年は国民読書年

大学 図書館学課程教授

塚原 博

国民読書年は、2年前に衆参両院全会一致で、2010（平成22）年を「国民読書年」とする、と決議したことに始まる。その主旨は、近年、年齢層をとわず読書離れが進み、言語力、読書力が衰退しているという危機意識から、政・官・民協力して読書の価値を見なおそうということである。

今年の1月に行われた「国民読書年宣言集会」にはじまり、毎月全国各地で読書に関わる行事が繰り返されている。“読めばあなたの「知層」になる”というキャンペーンを、新聞や、雑誌、テレビ、ラ



ジオで見たり聞いたりした人も多くであろう。また、“本のある生活って、どこか違う”、“読んで、勝つ。”、“本のある家、家中があったかい。”などの標語がついた、女優やプロ野球選手などのポスターも見かけたかも

しれない。

これを契機に、本の世界をのぞいてみてはどうであろう。

自由読書のすすめ：楽しんで読んでみよう

「読みたい本、興味のある本は、ありますか？」まだないという人は、是非探してみよう。読みたいから読むというのが自由読書である。一字一句を気にしなくてもよい、感想を書かなくてもよい。読みたい本は読まず、別の読みたい本を選んで読む。たいていの人が、いつもあたりまえにしている読書である。

おもしろそうという本を読む。本を楽しんで読む。

どんどん読む。本に夢中になっているうちに、自然に読書力がついてくるから不思議である。

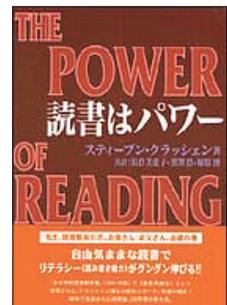
読む本を手に入れよう

読書興味があっても、本がなければ読めない。読みたい本が身近にあるとよい。そういう環境をつくらう。まずは、身近にある図書館に出かけてみることである。

地元の図書館や、市内に8館ある日野市立図書館に行ってみると、ロングセラーからベストセラーまで、教養書から専門書まで、いろいろなジャンルの本がたくさん置いてある。無料で借りられる上に、予約をすれば、その図書館だけでなく、他の図書館、都立や県立図書館、国立国会図書館の本の取り置きや取り寄せもしてくれ、便利である。これぞという本が見つかって、手元に置いておきたい本ができれば、購入して自分の蔵書をつくるのもよい。

身近といえば大学の図書館が一番身近である。実践の学生は大学・短大図書館の利用が非常に活発で、本をたくさん利用している。予約をすれば、ほかの大学図書館の本も利用できる。急ぎや、自分で本を確かめなければ、紹介状を書いてもらい、他大学図書館を利用することもできる。

本が手に入れば、電車の中でも、図書館でも、家に帰ってからでも、自分の好きな時に、好きな場所で読むことができる。今日から、図書館へ行って、いろいろな分野の本を読んで、自分に適した本を見つけてみよう。愛読書が1冊でもみつかることは、一生の宝物になりますよ。



『読書はパワー』
ステイブン・クラッセン著
共訳：長倉美恵子・黒澤浩・塚原博
金の星社 1996.4 166p
大学・短大図書館所蔵 019.5/K89

講演会報告

第4回図書館文化講演会

幸運の女神は前髪をつかめ—学び続けること—

日時：平成22年10月7日(木) 10:45～12:15

講師：見城美枝子氏(青森大学教授・エッセイスト・ジャーナリスト)

会場：実践女子大学香雪記念館1階大教室(329名来場)

【見城美枝子氏プロフィール】

群馬県館林市出身。群馬県立館林女子高等学校、早稲田大学教育学部英語英文科卒業後、1968年にTBSへ入社、「ケンケン」の愛称で親しまれ、アナウンサーとして活躍。1973年にTBSを退社、フリーに。海外取材を含め56ヶ国訪問。家庭では、4児の母。40歳半ばで、早稲田大学大学院理工学研究科博士課程単位取得。現在、青森大学社会学部教授として、建築社会学、メディア文化論、環境保護論で講義をする傍ら、著作、対談、講演、テレビ等で活躍。



【講演概要】

ノーベル賞を受賞した鈴木章さんが化学の道に進んだのは、2冊の本との出会いであり、1冊目の本で化学の道へ進もうと準備に入られたのだという、当日の新聞記事のお話より始まりました。

ラッキーチャンスは、みんな平等で向こうの方から来ていて、重要なのは、志をもって準備ができていないと、せっかくつかんだラッキーチャンを生かすことができないという。

ご自身も本を読んでいたお話をされ、高校の時にアナウンサーになることを決意して大学を選び、大学生時代にも継続して準備をしていたお話。アナウンサーになってすぐに大失敗をしたというお話。泣いてごまかすな。笑ってごまかすな。めげない。学び続けることが大事。一生懸命準備する人には、幸運の女神は微笑むのではないか。初心忘るべからず。今回、36年ぶりに、TBSラジオ「大沢悠里のゆうゆうワイド」の水曜日の新パートナーとして講演の前日10/6から、出演され、事前に準備をしていたお話。志をもって、みなさんの目指す所へ羽ばたいて頂きたいというお話でした。

会場入口では、図書館所蔵の見城氏の著作本を展示し、希望者26名に図書館見学の案内を行って、アンケートでは、非常に良かったという感想が大多数よせられ、盛会のうちに終了することができました。

写真で見る図書館史 (3)

Library Mate 42・44号では、渋谷キャンパスの図書館について写真でその歴史を振り返りました。今号では日野キャンパスに移転してからの図書館について見てみましょう。

【大学】

昭和57年学園90周年記念事業のメインとして、大学の日野移転が計画され、図書館新設の話がもちあがりました。大学本館の一角を占めるという形で計画が進められ、昭和60年4月に、延べ床面積4,104㎡、地上2階、地下2階の図書館が完成しました。これが現在の大学図書館です。

配置は今もほとんど変わりませんが、閲覧用目録カードケースが蔵書検索用パソコンに変わるなど時代とニーズに合わせて変化しています。



【短期大学】

渋谷キャンパス時代の短期大学図書館は、大学図書館との共用でしたが、昭和47年4月埼玉県松伏町に短期大学家政科家庭科コースを新設した折、淑徳学園女子短期大学の旧蔵書をもとに短期大学図書室が開設されました。昭和51年3月をもって埼玉校舎は閉校となり、4月、日野市に短期大学校舎が完成、一教室を図書室として開設、翌昭和52年創立80周年記念事業の一環として鉄筋コンクリート4階建の図書館棟が完成しました。図書館はその2階に位置し、面積は502㎡でした。ここに初めて国文・英文・家政科のための短期大学図書館が開設されたのでした。その後、昭和64年の増改築により、図書館は2階で旧図書館とつながり、地下1、2階の書庫を含め1,500㎡の増築となりました。また、平成11年9月には地下書庫に電動式集密書庫が設置されました。この増改築後の図書館が現在の短期大学図書館です。

今後、大学・短期大学は渋谷と日野の2キャンパスになります。どのような図書館になるか、今から楽しみです。



【増改築前】(『実践女子学園創立90周年記念』より)



【現在】

☆ 一口メモ ☆



現在の図書館では、資料の貸出は機械で行い、資料を探すときはOPACで検索をします。しかし、図書館が機械化される前は、貸出は貸出カードを記入してもらい、資料は目録カードで探していました。機械化は平成4年から準備が進められ、図書館システムの選定・導入、蔵書バーコード貼付・廻及入力作業を行い、短大では平成8年、大学では平成10年より貸出機械化を開始しました。現在では、導入当時とは異なる図書館システム(NEC社製のE-cats Library)に更新し、各種申込をweb上でできるようにするなどさらなるサービスの向上を図っています。

参考文献：『実践女子学園100年史』 実践女子学園100年史編纂委員会編集、実践女子学園、2001.3

探訪

日野市立中央図書館へ行ってきました

10月某日、大学図書館のスタッフは相互協力協定を結んでいる日野市立図書館の中央図書館(豊田)へ見学に行ってきました。

事務室でお話をうかがった後、館内を案内していただきました。まず案内されたのは2階のレファレンス室。豊富な参考資料が並んでいます。本学図書館では見かけないさまざまな歴史関係の参考図書や地図を見つけました。これらは、市民の方が自分史を作ったり、戦時中自分が住んでいた土地を当時の地図を見ながら思い出したりするのに使われるそうです。

さて、次に行った1階の開架閲覧室には、一般図書コーナーと児童書コーナーがありました。一般図書は大学図書館と同じく十進分類法(000~999の番号)によって分類されていますが、「T」で始まる分類が…。これは何だろうと聞いてみると、子育てに関するものや、料理の本など、実用書をまとめて置いてあるとのこと。配置もカウンターすぐ手前で児童書コーナーが目に入る位置。これは、子供と一緒に来たお母さんが児童書コーナーにいる子供を見ながら自分の本も探せるようにとの配慮からだ



児童書コーナー

か。さすが、市民の利用に合わせた配置がされているなあと感じました。カウンターではスタッフの方たちが、忙しそうに应对しています。インターネットでリクエスト(予約・取寄)ができるようになってから、申し込みが大量で、各分館から資料が到着する時間はててこ舞いなのだとか。でも、大変とおっしゃる顔には、市民の方のたくさん利用に応えられる喜びがにじみ出ていました。

最後に見せていただいたのは移動図書館ひまわり号。19箇所の駐車場を月2回まわっています。図書館が近くにない市民の利用に應えるために今でも走っています。最近では、個人の利用よりは幼稚園、保育園、学童クラブなどの団体への貸し出しが多いそうです。時代によって変化する市民のニーズに應えているんですね。



移動図書館ひまわり号

こうして充実した図書館見学は終了しました。実践女子大学・短期大学の学生のみなさんは、登録をすれば日野市立図書館の資料を借りることができます。みなさんも通学の際にお近くの日野市立図書館を利用しては? 大学図書館とは違った本に出会う楽しみがありますよ。

図書館からのお知らせ

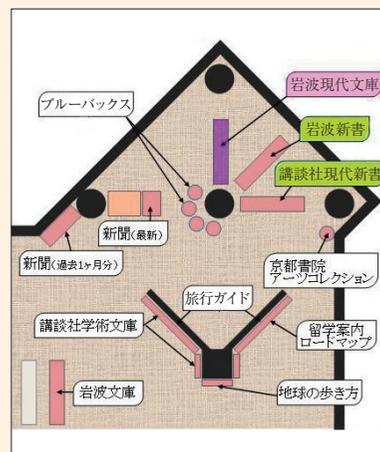
ブラウジングコーナーの配置が変わりました

増加する新書・文庫資料に対応するため、ブラウジングコーナーに書架を一つ増やし(図紫部分)、それにともない本の配置も変えました。

岩波現代文庫は今までブラウジングコーナー入口の柱部分(『地球の歩き方』のところ)にありましたが、新しく追加した書架へ移動しました。また、講談社現代新書と岩波新書の配置を逆転し、岩波書店の資料同士が近くなるようにしました(※)。

みなさんどんどん利用してください!

※ 岩波文庫は一般書架の一角にあります。



ブラウジングコーナー

❀❀❀ いんふおめーしょん ❀❀❀

2010年12月～2011年3月

大学図書館

短期大学図書館

開館時間

通常 月～金 8:50～19:30
土 8:50～17:00

冬休み中の開館 1/5(水)～1/6(木)
9:00～16:00

試験期の開館 1/7(金)～1/29(土)
月～金 8:50～19:30
土 8:50～17:00

試験終了後(1/31～)の開館
9:00～16:00

※日曜、祝日休館

冬休み特別貸出

期間 12/10(金)～1/6(木)

返却日 1/11(火)

対象 図書のみ 冊数無制限
※指定図書・雑誌は通常通り

試験期の貸出

期間 1/7(金)～1/24(月) 3日間貸出

対象者 大学生・短大生・科目等履修生 ※雑誌は通常通り

春休み特別貸出

期間 1/25(火)～3/25(金)

返却日 4/11(月) [卒業予定者3/16(水)]

対象 図書のみ 冊数無制限 ※指定図書・雑誌は通常通り

休館日

12/25(土)～1/4(火)は冬期休業のため

1/14(金)はセンター入試準備のため

1/15(土)はセンター入試のため

1/20(木)、2/1(火)は入試準備のため

1/21(金)、2/2(水)～2/5(土)は入試のため

2/25(金)～3/5(土)は蔵書点検のため

3/17(木)、3/26(土)～3/31(木)は卒業式、新年度準備のため

※3/17の大学卒業式当日は休館ですが見学は可能です。

※4月の休館は学事日程に従います。決定次第、掲示等でお知らせします。

開館時間

通常 月～金 9:00～18:45
土 9:00～16:00

冬休み中の開館 12/24(金)
9:00～16:00

試験期の開館 1/5(水)～1/24(月)
月～金 9:00～18:45
土 9:00～17:00

試験終了後(1/25～)の開館

1/25(火)～1/31(月)

月～金 9:00～17:45

土 9:00～16:00

2/1(火)～9:00～16:00

※日曜、祝日休館

冬休み特別貸出

期間 12/10(金)～12/24(金)

返却日 1/7(金)

対象 一般図書 冊数無制限
AV資料 6点
※指定図書・雑誌は通常通り

試験期の貸出

期間 1/5(水)～1/19(水) 3日間貸出

対象者 大学生・短大生・科目等履修生

春休み特別貸出

期間 1/20(木)～3/19(土)

返却日 4/8(金) [卒業予定者3/19(土)]

対象 一般図書 冊数無制限
AV資料 6点
※指定図書・雑誌は通常通り

休館日

12/25(土)～1/4(火)は冬期休業のため

1/15(土)はセンター入試のため

2/2(水)～2/5(土)は一般入試のため

3/21(月)～4/2(土)は新年度準備のため

編集後記

国民読書年のイベントの一つとして、学生選書ツアーを開催しました。今号でその様子をご紹介しましたが、いかがだったでしょうか。「皆さんに読んでもらいたい」という資料を学生の目線で、選んでくれています。オススメコメントを付けて展示しますので、ぜひ手に取ってみてください！次回開催時には、さらに多くの方が参加して下さることを期待しています。

Library Mate 第45号 2010年12月

発行所 実践女子大学図書館
東京都日野市大坂上4-1-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/>
実践女子短期大学図書館
東京都日野市神明1-13-1
URL:<http://www.jissen.ac.jp/library/jcol/>
発行責任者 窪 龍子